

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C	令和8年4月2日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進						
地域重点政策	ものづくり・観光・農林業振興					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	諏訪湖結氷時安全対策推進事業				電話	0266-57-2955(直)2111(内)	
					E-mail	suwachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	諏訪湖のライブ映像の配信と文字情報による注意喚起により諏訪湖が結氷した際の観光客の安全対策を図りつつ、諏訪湖の結氷(御神渡り)への関心と期待を高める。					
	現状と課題	諏訪湖結氷時には、氷上への立入などが発生するため、諏訪地区観光客安全対策推進会議による立入禁止の赤旗設置や、ホームページなどで注意喚起を行っている。これまで結氷状況を確認できるようYouTubeでライブ配信を行ったところ、氷上立入通報件数の減少等安全対策に一定の効果があつた。 あわせて、これまで配信を継続して行った結果視聴者の認知度も向上しており、令和6年度事業は視聴回数・チャットメッセージ共に前年比増となり、御神渡りへの期待を通じ配信が諏訪湖の認知度向上にもつながっている。 これに加え、諏訪湖では結氷時の注意喚起看板を平成20年度から冬季に設置しているが、設置当初と比較し、県内の外国人観光客は、大幅に増加(H20:30万人→R5:90万人)しており、今後もその傾向が続く見込みである。諏訪地区観光客安全対策推進会議においても社会環境の変化を踏まえた看板の記載内容変更が指摘されており、指摘を踏まえた対応を進めていく必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	結氷時における観光客の立入を未然に防ぎ事故防止につなげるとともに、御神渡りへの関心と期待を高める。 1 Youtubeライブ配信 諏訪湖の結氷が期待される12月から2月にカメラ1台を設置し諏訪湖映像のライブ配信を行う。テロップなどで安全対策の注意喚起を行うほか、御神渡りへの関心を高める発信を行い諏訪湖への関心を高める。 2 安全対策啓発看板の内容更新 諏訪地区観光客安全対策推進会議における構成員の指摘も踏まえ、御神渡り看板3枚の記載内容更新を行い、外国人観光客の増加等の社会環境の変化を踏まえた対応を行う。					
	事業期間	令和7年11月 ～ 令和8年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考
	諏訪湖映像ライブ配信事業		委託料(カメラレンタル・通信回線設置・YouTube配信管理)		405,042	2.5か月設置	
			需用費(電気代)		858		
			需用費(安全対策啓発看板修繕費)		80,190	24,300円×3枚×1.1=80,190円	
合 計				486,090			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	氷上立入通報件数			2件以下	1件	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
	YouTube視聴回数			70,000回	514,830回		
事業実績・成果	【事業実績】 ・諏訪湖結氷時の安全対策と、御神渡りや諏訪湖への関心を高めるため、Youtubeでライブ配信を実施した。12月17日から3月2日の約2.5ヶ月間配信し、 視聴回数は514,830回と目標の7倍 となった。2025-2026冬シーズンは、1/26に全面結氷が確認され、大きく報道されたものの、 事故件数及び立入通報件数は1件にとどまった。 ・看板3基を改修するとともに、 注意喚起の文章に英語を併記し海外からの観光客の増加に対応 できるようにした。 【成果】 冷え込みが強まった1月下旬は1日の視聴回数が25,000～30,000回に及ぶなど大きな注目を集めた。全面結氷以降は、全国ネット、関西ローカルの報道番組等に取り上げられるなどし、諏訪湖への関心を高めることができた。また、あわせて看板の設置により、氷上立入通報件数の抑制など安全対策にも一定の効果があつたと考えられる。						
	今後の方向性 御神渡りが全国的にも大きな注目を集める中、諏訪湖ライブカメラも一定の注目を集めることができた。3か月の視聴回数約50万回は、中堅から人気配信者の水準と言われており、この実績ももとに自治体や観光団体でも始めた諏訪湖のライブ配信に視聴者を誘導するよう努める。						